

あわせになろうよ

先日、雨上がりの日、たまたま目にした下校時の様子です。

その子は信号のない横断歩道を一人で渡ろうとしていました。すると、女性の運転手が車を停めて待って下さいました。その子は頭を下げて横断歩道を渡りました。運転手の方も軽く頭を下げてにっこりしながら渡る様子を見ていました。(子どもは私がすぐ後ろにいることには全く気付いていませんでした。)

「感じが良かったなあ。今、頭下げて渡ったなあ。」

『だって、行かせてくれたもん。』

「あ、そう。うれしいなあ。運転手さんもうれしくて、きっと。」

『ほんと?』

「ほんとじゃあ。絶対うれしいわ、かわいい小学生が頭下げてくれて。」

「そういう子は、きっと幸せになれるで。」

『やったー、うれしいー。』

「うれしいのはこっちじゃあ。こんなええところに出会えて。」

先生も運転手さんもみんなうれしくなったわ。」

『やったー。』



— みんなにとって居心地のよい時間 —

3年生のあるクラスが担任が出張の時に、図書室で本を返却していました。途中で司書の佐藤先生が、「みんな上手に返しましたね。でも、緑の棚の本はどうですか?(乱雑になっていたの)」と声をかけました。するとどうでしょう、3人の子がごく自然に棚へ行き、きれいに整頓していました。チャイムがなり、教室に帰るときには今度は、先程とちがう子がそっと

いすの整頓をしていました。命令や大声ではなく、自然に動くことができるその姿がみんなにとって居心地のよい時間をつくっているのだと感じました。また、もう一方のクラスでは、担任の先生がいないときに自分たちで整然と給食の準備をしていました。掃除時間には、「お見事!!」と思わず口にするくらいきれいに黒板の掃除をする姿、担当が忘れていた台ふき用の雑きんとバケツを片付ける姿がありました。そして、どちらのクラスもきちんと日直が司会をして帰りの会をしていました。日々の積み重ねがこうしたときに出るのだと思います。自分たちで居心地のよい時間をつくり、それが居心地のよいクラスへとつながっていくことを願ってやみません。終わりよければすべて… 2クラスとも、「さようなら」のあいさつもさわやかでした。



【お礼】



参観日、PTA 評議員会、一万人の交通マナー向上作戦、あいさつ運動、安全パトロール等、お忙しい中ご協力ありがとうございました。みなさまのおかげで、大きな事故もなく9月を終えることができます。